

③⑥【湘南厚木病院】

住 所	〒243-8551 神奈川県厚木市温水118-1		病床数：253床
診療科目	内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・神経内科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・腫瘍外科・「肝臓・胆のう・膵臓外科」・小児科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・救急科・麻酔科		
研修責任者名	黒木 則光 (院長)	連絡先：kensyu@shonan-atsugi.jp 046-223-3636(代表)	連絡先担当者名：齊藤 公彦 (臨床研修センター事務局)
新臨床研修医指導実績	湘南厚木病院「断らない医師」育成・研修プログラム採用 平成30年度、令和元年度：4人、令和2年度：4人、令和3年度：4人、令和4年度：4人		
	研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
	必修：内科、外科、救急科、麻酔科 選択科：内科、外科、救急科、麻酔科、循環器科、消化器内科、外傷整形外科、臨床検査科、心臓血管外科	外科：5人、救急科：2人、麻酔科：1人、整形外科：2人、産婦人科：1人、眼科：1人、皮膚科：1人、消化器病：1人、腎臓：1人、肝臓：1人、消化器内視鏡：2人、消化器外科：2人、心臓血管外科：1人	外科：1人、麻酔科：1人、消化器外科：1人
<b>施設の概説・特徴</b>			
<p>厚木市は神奈川県ほぼ中央、丹沢山地の麓に位置する緑あふれる地方都市です。交通の便にも恵まれ、県央地区の中核として発展してきました、しかしながら、医療過疎地でもあり、神奈川県西部地域全体で1000床に迫る数のベッドが不足していると言われております。そこで地域の要望から誕生したのが湘南厚木病院です。</p> <p>365日24時間オープンな救急診療、県央地区では初めてのPET診断センターなど近未来を先取りした先進医療、地域のニーズにあわせた日帰り手術、訪問診療など、地域に密着した医療を行っています。</p>			
<b>研修受け入れ可能診療科の説明</b>			
<p>内科：総合内科研修は初期臨床研修のなかでも患者を診察する上でもっとも基本となる病歴聴取、身体所見のとり方、基本的な検査（採血、レントゲン、心電図等）のオーダーの仕方・評価などを学ぶ重要な研修となるため、12～16週を1年次のうちに履修する。入院では10名～15名の入院患者を受け持ち、また外来では内科外来（新患・慢性疾患患者の継続診療）を上級医および指導医のもとに担当し、内科診療の基本を体得する。より実りある研修はたとえ研修医であろうとも患者の前では一人の医師であり、主治医のつもりで患者と接することが重要であり、救急やPrimary Careに積極的に参加し症例を広くかつ深く探求する。</p> <p>外科：当科では、湘南外科グループ（Shonan Surgical Association）の1研修施設として、初期臨床研修カリキュラムに準じて一般外科を研修する。ローテーション期間中の受持ち患者内容は、一般外科全般に広く及び、担当医として平均約10名前後を受け持ち、そのうち数名は常に術後急性期または集中治療を要する症例となる。平均在院日数が短いため入院患者回転率が早いので、症例数は十分である。診療方針は上級医、チーフレジデント、指導医のチーム内で決定し、インフォームドコンセントを実施、チーム医療で行う。受け持ち患者の診断治療手技や手術の介助、麻酔、術者として参加する。研修期間中には、皮膚良性腫瘍切除、虫垂切除、膿瘍切開排膿など、また下肢静脈瘤、痔核、単径ヘルニアなどの日帰り手術全般に対する執刀を平均して5例以上経験し、手術適応の決定、手術内容の把握、術前術後管理、加えて、一般的な創傷処置法も研修する。2年次選択科では腹腔鏡下胆嚢摘出術、腸閉塞手術、小腸切除などのより高度な手術手技の執刀も行い1年次研修医の指導とともに、より多くの臨床経験を積む事が可能となる。さらに、研修期間を通してターミナル患者を受け持つ事により緩和治療まで研修する。</p> <p>麻酔科：全身麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔の基礎的理論の理解と手技を学び、麻酔実技を通じて、気道確保、用手式人工呼吸、静脈路確保などの基本的な救急処置の技術習得を目標とする。</p> <p>また、呼吸・循環モニターの理論の基本を理解するとともに、モニター機器の正しい使用方法と異常値の解釈を学び、安全な患者管理の技術を目標とする。</p> <p>救急科：月に約6～7回の当直で、24時間救急搬送患者と夜間時間外の患者の診療を、スタッフとともに担当し、研修を行う。</p> <p>主たる目的は各種救急患者に対する診察、検査、初期治療に関する基本的知識と技術を研修するとともに、救急診療における使命感と責任感を修得する。</p>			
<b>研修の概説と特徴</b>			
<p>「生命を安心して預けられる病院・健康と生活を守る病院」の理念のもと、医師としての人格を涵養し、基本的価値観（プロフェッショナルリズム）および医師としての資質・能力を身に付けなければならない。</p> <p>研修医は将来の専門性にかかわらず、地域医療に貢献できる幅広い基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、患者さま中心の医療を実践し「断らない」医師を目指す。</p>			
<b>研修医の当直</b>			
<p>二次救急病院として、内科輪番（月4～5回）、外科輪番（5～6回）を担当している。救急外来患者数は5000人程度で、そのうち救急車で来院した患者は2200人程度となっている。当直は、診療科の担当医指導医1～2人と研修医1～2人体制で実施する。</p> <p>1年次 6回/月平均 2年次 6回/月平均</p>			
<b>処 遇</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●給与：卒後1年次一月給 300,000円/年収 6,910,000円 卒後2年次一月給 320,000円/年収 7,770,000円</li> <li>●食事：職員食堂（朝150円、昼・夜250円）、院内売店、近所にコンビニ有</li> <li>●宿舎：あり 宿舎 35,000円/月 住宅補助 50,000円/月</li> <li>●図書・文献：図書室有 オンラインジャーナル…医中誌Web、UpToDate</li> <li>●インターネット環境：職員Wi-Fi有</li> </ul>			